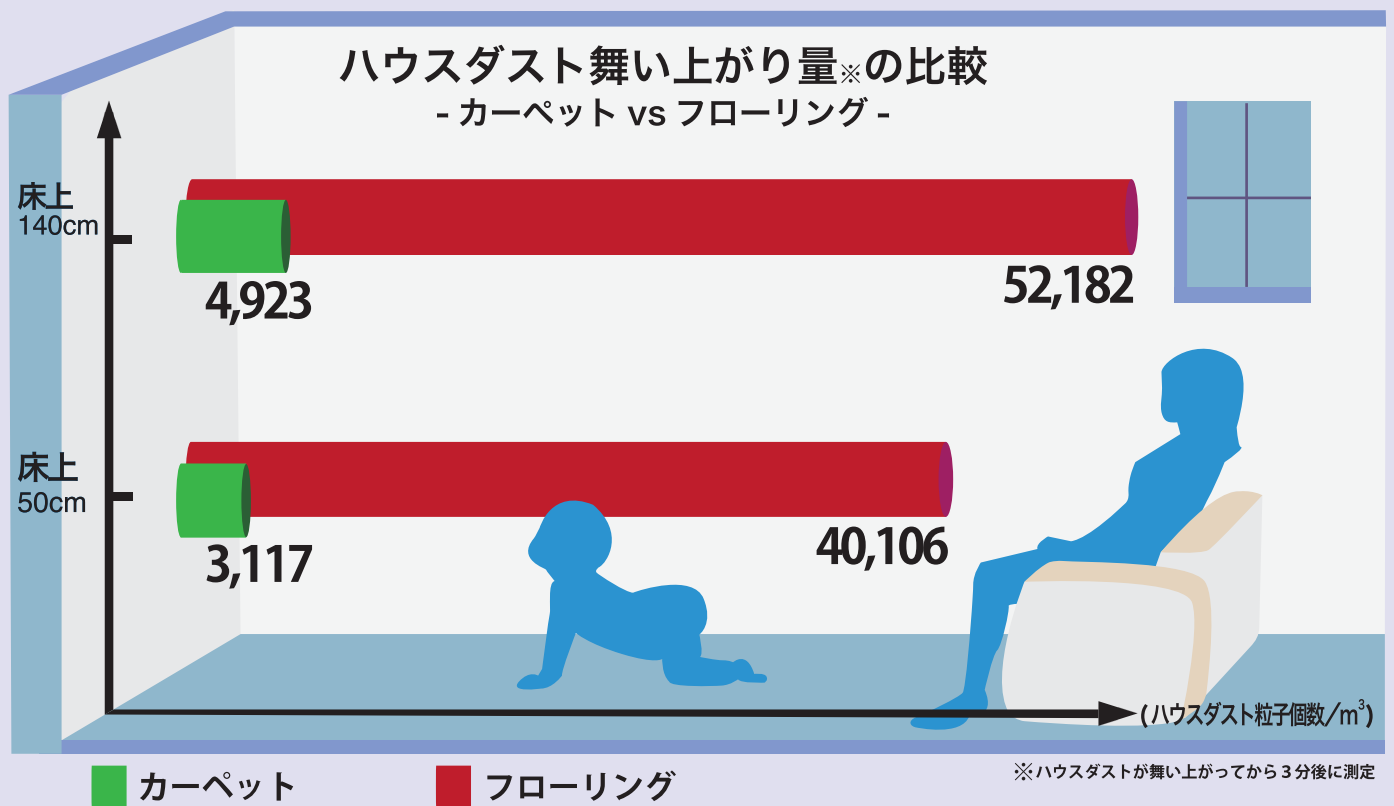


カーペットのハウスダスト舞い上がり抑制効果に関する実験

ハウスダスト 舞い上がり量

カーペットは

1
10



カーペットでハウスダスト対策！

フローリングに比べ安心・安全

歩行を想定したハウスダスト（5～10 μ m＝ダニアレルゲンの粒径に相当）の舞い上がり量を、カーペットとフローリングで比較しました。

その結果、カーペット敷きの空間での舞い上がり量はフローリングのわずか約10分の1であることが実証されました。

また、瞬間的には最大約20分の1という結果も示されました。

実験実施：地方独立行政法人 大阪府立産業技術総合研究所
(受託研究制度により実施)

- 1、試料：タイルカーペット(ナイロン糸/ループ)、フローリング材 (サイズ 50x50cm)
- 2、粉体：JIS Z 8901「試験用粉体」15種(混合粉体)※模擬ハウスダストとして使用
- 3、測定装置：クリーンブース、パーティクルカウンター
- 4、実験手順(測定環境 温度20℃、湿度65%RH)
イ、試料に試験用粉体1.0gを均一散布し、7kgのローラーで固着させた(30秒間)。
ロ、タッピングマシン(軽量床衝撃音発生器)を用いて粉体を飛散、舞い上がらせた。
ハ、5分後、タッピングマシンを停止し、床から50cm、140cmの位置の飛散粉体量をパーティクルカウンター(3分間吸引)で測定した。

インテリアファブリックス性能評価協議会

日本カーペット工業組合・一般社団法人日本インテリアファブリックス協会